

花火文化振興に向けた取組について

2026年10月2日
花火文化振興プロジェクトチーム
(事務局：生活文化課)

1 背景

- 日本の花火は、世界に誇るべき文化であり地域の認知度や魅力向上にも繋がる重要な財産である
- 一方、花火の文化的価値や技術体系は国内において十分に評価・可視化されているとは言えない状況にある



2 取組方針

- 花火文化の社会的評価の向上
- 花火師の功績評価・顕彰制度の確立

3 取組状況

- (1) 中央要望（文部科学省・経済産業省）【2026年6月】
- (2) 茨城県地域花火文化振興協議会の設立【2026年7月】
- (3) 全国花火文化振興協議会の設立検討
- (4) 情報発信（県広報紙・SNS等）の強化
- (5) 学術調査の実施【2026年7月～2027年3月】
- (6) 茨城県伝統工芸品の指定【2026年10月2日】



花火の伝統工芸品指定について

2026年10月2日
技術革新課

- ・ 県では工芸品製造者の意欲高揚や、工芸品に対する認識を広めるため「茨城県伝統工芸品」を指定
- ・ このたび、茨城県伝統工芸品審査委員会（委員長：茨城大学 小泉 晋弥 名誉教授）の意見を踏まえ、打揚花火を「いばらきの花火」として茨城県伝統工芸品に指定する。

工芸品名 いばらきの花火

概 要 伝統的な技術・技法を用いて、ほとんどの工程を手作業で行う

主な工程 ①星掛け：配合した火薬を「星」と呼ばれる球状に成型
②玉込め：星を半球の容器に詰める
③玉貼り：玉の表面にクラフト紙を貼る

製造者 野村花火工業株式会社（水戸市）
株式会社山崎煙火製造所（つくば市）
株式会社丸玉屋小勝煙火店（下妻市）



令和8年度 県民栄誉賞について

2026年10月2日
秘書課

1 被表彰者

野村 陽一 氏（野村花火工業株式会社 代表取締役）
・ 1875年（明治8年）に創業した野村花火の4代目
・ 水戸市生まれ

2 表彰区分

県民栄誉賞

3 表彰理由

- ・ 日本を代表する花火師として、五重の同心円を描く複雑な「五重芯」を世界で初めて成功させるとともに、「野村ブルー」を代表とする多彩な色彩表現や、花火と音楽をシンクロさせる芸術性の高いスターマインの演出など、打揚花火の精緻かつ精巧な技術を極め、長年にわたり花火業界を牽引してきた。
- ・ 代表を務める野村花火工業株式会社は、通算23回の内閣総理大臣賞受賞を果たした。
- ・ この成果は、全国民に大きな喜びと感動を与えるとともに、本県の名声を著しく高め、県民の誇りである。



ごえしん



4 表彰歴

顕彰歴	内閣総理大臣賞受賞歴（計23回）
2006年 茨城県特別功労賞（野村花火工業（株））	土浦全国花火競技大会 13回受賞
2013年 現代の名工	
2014年 黄綬褒章	全国花火競技大会「大曲の花火」 10回受賞
2019年 水戸市文化栄誉賞	